

年末ご挨拶 常務取締役 木村 正義



早いもので今年も一年が暮れようとしています。朝夕の冷え込みが厳しくなり、年の瀬を感じる今日この頃です。気象条件も厳しくなる中、現場の第一線で活躍されている職員と興伸工業の皆さん、そして協力会社の皆さんには、心より感謝申し上げます。今年には異常気象や地震により、日本各地で災害が頻繁に起こりました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

異常気象とは人が一生の間に稀にしか経験しない現象で、30年に1回程度だと言われてはいますが、各地で起きている状況を見ると、もう異常ではなく定常なのかもしれません。現場に限らず自宅にいる時も、危険を予知し身を守る行動をとることが大切です。

9月6日未明、マグニチュード6.7、最大震度7の北海道胆振東部地震が発生し、胆振管内をはじめ札幌市内でも大きな被害があり、多くの方々が亡くなったり被災されました。さらに、ブラックアウトによる北海道全域 295万戸に及ぶ停電が起きました。幸いにも当社の作業所での被害はありませんでしたが、鹿部町で施工している森林土木工事で地震の影響による工区外での岩盤崩落が確認されました。崩落地点と現場内の地形・地質が同様ということで直ちに立入禁止処置を実施し、リスクの見直し、施工方法の変更を検討しました。協力会社、現場職長、企業体、発注者との協議を重ね、人が危険区域に立入せず目的物を造る施工を行っています。現在は無人バックホーを用い、リモコン操作にて防潮堤背面の土工作業を進めています。人間尊重と法遵守を基本に、危険源を除去し、リスクを低減させ、安全で健康的な労働条件を提供することが、当社の方針となっております。

年明けから年度末にかけて土木工事8現場、ノンフレーム工事4現場、建築工事1現場の合わせて13現場での稼働を予定していますが、現場で働く皆さんは、大きなリスクだけではなく、小さなリスクにも配慮していただき、絶対にケガをしない、ケガをさせない働き方をしてほしいと思っています。

来年は『亥年』です。亥年には、無病息災の意味もある年とされております。新しい年が皆様にとって良い年でありませうよう祈念し、年末のご挨拶とさせていただきます。



安全と衛生
 戸沼岩崎建設株式会社 発行
 平成30年12月15日
<http://www.tonuma.com/>
 第231号

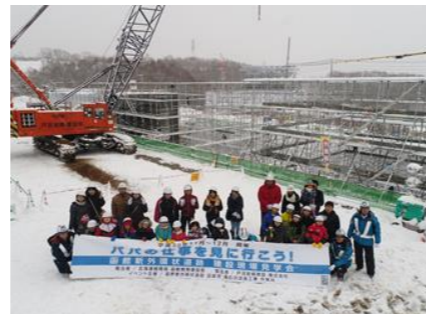
平成30年度 函館建設管理部優秀現場代理人等表彰式

当社の澤田司土木係長が、10月30日(火)、渡島合同庁舎で行われた平成30年度函館建設管理部優秀現場代理人等表彰式で渡島総合振興局の倉持賢副局長(檜山振興局副局長兼任)から表彰されました。この表彰は、平成29年度に渡島総合振興局(函館建設管理部)が発注・完了した工事業務と委託業務の内、施工構造物の品質確保や技術力向上を目的に、各出張所の推薦を基に施工成績等を総合的に評価して工事部門8名と委託部門4名が選ばれました。



パパの仕事を見に行こう 湯の沢改良工事建設現場見学会

函館新外環状道路 函館市 湯の沢改良工事は「パパの仕事を見てみよう」をテーマに協力会社のご家族を対象にした建設現場見学会を開催しました。11月17日(土)と12月8日(土)



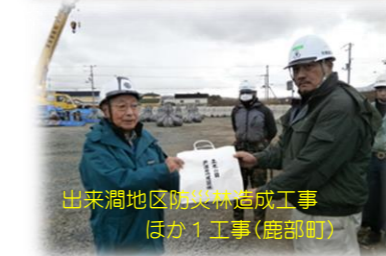
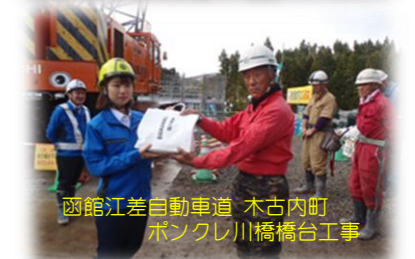
の2回に分けて行われた見学会には、延べ80名を超える皆さんが参加しました。

見学会では、エンジンを切ったバックホーに試乗したり、インスタスポットで写真撮影をしたり、自分の名前を書いたヒットコンを施工途中のボックスカルバートに打込んだりしました。

参加した子ども達からは「穴埋めでトントンしたのが楽しかった」「働くお父さんがカッコいい」「現場がとてもきれい」等々の感想が寄せられました。

土木の日

11月18日は土木学会の前身にあたる工学会の創立記念日です。『土木』が(土→十と一)十一月十八日(木→十と八)と読めることから、この日を『土木の日』としています。当社では毎年、工事現場を訪ね、日頃、現場の最前線で働かれている皆さんに敬意を払うと共に、技術向上、労働安全衛生の重要性等を伝え実用的な記念品をお贈りしています。



「地元企業の魅力」 パネル討論会 in 函館高専

12月10日(月)、函館建青会(渡辺一史会長)が函館工業高等専門学校で「地元企業の魅力」をテーマに開催したパネル討論会で土木部の吉元克緒君が函館高専の平沢秀之教授、菅原組の川口莉奈さん、渡辺一史会長とパネラーを務めました。パネル討論会には函館高専社会基盤工学科生他、142名が出席しました。吉元君は自らが携わった工事を紹介し「自分が造ったものが、地域の人たちに利用されていることが嬉しい」と仕事のやりがいを語り、高専生からの「建設業は大変そう」等の質問には「今は2~3名で現場監理の役割を分担している」と建設業の働き方や現場環境の現状について説明しました。

